

学校だより

潮

風

令和6年度
第10号
令和6年
12月25日

教育目標 「伸びる喜びを見つけよう」
学ぶよろこび (知) 助け合うよろこび (徳) やりぬくよろこび (体)



岩内町立岩内西小学校 TEL 62-0263
<http://www.town.iwanai.hokkaido.jp/nishisyo/>

子供たちが頑張った2学期

岩内西小学校長 古館 昭仁

朝、校門の前に立って挨拶をしていると、「おはようございます」と丁寧にお辞儀してくれる子がいます。「校長先生、見て!」と、登校の途中で見つけた真っ赤に熟したナナカマドの実を見せてくれる子がいます。子供たちの元気な声と笑顔に励まされて、今日も一日がんばろうという前向きな気持ちにさせてくれます。

今学期は、多くの行事で活躍した子供たちの姿や日々教室で見せる学ぶ姿など、心に残ることが数多くありました。練習した成果を発揮した学芸会、とくに4月に入学した1年生が堂々としたセリフを言い、楽器を演奏する姿、小学校生活最後の学芸会の6年生は、全校の手本となる演技や終わりの言葉には深い感動を覚えました。日々の生活では、PCやタブレットを使って自分の考えをまとめ発表をしている4、5年生。かけ算九九に挑戦し、スラスラ言えるようになった2年生。スーパーや郷土館に実際に足を運び、学習したことを確かめ合った3年生。季節の行事に合わせて、役割を果たし協力してやり遂げるおあいこ学級の姿が印象に残ります。参観日で配付しました懇談資料を拝見すると、どの学年も担任の先生が「こうなさい」と言わなくても、自分たちの「やりたい」ことをグループや班で誰とでも分け隔てなく、話し合い、折り合いをつけながら、よりよい方法を見つけ、自分たちで進めていく姿があることが紹介されています。それには「西小あいことば」を日々意識し生活することが、日々の学びの姿や思いやりの姿の基盤となっていると確信しています。

人がよりよく生きていくためには、子供たちの素直さや優しさ、新しいものにチャレンジしていくことが大切だと思います。学校生活の中では、子供たち同士がふれあい、学び合い、日々成長をしている様子がたくさん見られました。これからも素直で優しく前向きな子どもたちを育てていきたいと思っています。

月日は早いもので、本日で2学期を終え明日から冬休みになります。冬休みはお正月など楽しい行事がたくさんあります。お家の人と楽しく過ごしてほしいと思っています。今年1年、子供たちが健康で安全に「にっこり」する学校生活を過ごせたことは大変うれしいことです。来年も教職員が一丸となって、全力で教育活動を進め、保護者の皆様にご理解・ご協力いただき、学校をよりよいものにしていきます。来年もどうぞよろしくお願いします。

西小あいことば

あいさつは自分から
いつもろうか右がわを
ことばづかいはていねいに
ときは金なり チャイム前
ばめんに合わせてりつよう

西小HPへ
検索(岩内西小学校)

